

活力と魅力あふれる地域づくりのために

# ふるさと

NOVEMBER  
2017  
vol.130

パイタリゼーション

# Vitalization

特別対談

## 商店街の強みを活かした 地域活性化

埼玉県秩父市商店連盟連合会会長・前みやのかわ商店街振興組合理事長  
一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）理事長

島田憲一氏  
柚木憲一氏

随感随筆

管理職の使命・役割

法政大学大学院教授 坂本光司氏

「ふるさと企業大賞」に輝いた 社長に聞く

温泉に劇場も、  
ユニーク複合商業施設で広域集客

株式会社レスパスコーポレーション 代表取締役社長 越智陽一氏

新技術・地域資源開発補助事業

世界初、無垢材の曲げ加工装置を開発し製品化

ストーリーオ株式会社

お知らせ 地域貢献企業の会 入会のご案内



一般財団法人

地域総合整備財団〈ふるさと財団〉  
Japan Foundation For Regional Vitalization



この情報誌は、宝くじ<sup>®</sup>の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

活力と魅力あふれる地域づくりのために

# ふるさと

NOVEMBER  
2017  
vol. 130  
バイタリゼーション

# Vitalization

**表紙の写真** 京都祇園祭、飛騨高山祭と並ぶ「日本三大曳山祭」の一つの秩父夜祭。大祭の12月3日夜、祭の興奮は最高潮に達する。詳しくは10ページに。

## CONTENTS

- 3** | 随感随筆  
**管理職の使命・役割**  
法政大学大学院教授 坂本 光司 氏
- 4** | 特別対談  
**商店街の強みを活かした地域活性化**  
埼玉県秩父市商店連盟連合会会長・前みやのかわ商店街振興組合理事長 島田 憲一 氏  
一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団） 理事長 柚木 憲一
- 10** | 「秩父夜祭」がユネスコ無形文化遺産に――
- 11** | 「ふるさと企業大賞」に輝いた 社長に聞く  
**温泉に劇場も、ユニーク複合商業施設で広域集客**  
株式会社レスパスコーポレーション代表取締役社長 越智 陽一 氏
- 17** | お知らせ  
**地域貢献企業の会 入会のご案内**
- 18** | 新技術・地域資源開発補助事業  
**世界初、無垢材の曲げ加工装置を開発し製品化**  
ストーリーオ株式会社
- 22** | 平成30年度 ふるさとものづくり支援事業について
- 24** | 地域再生マネージャー事業  
新潟県三条市
- 26** | 公民連携セミナー
- 30** | 平成29年度第1回ふるさと融資予定事業
- 34** | 職員レポート  
**古き良きもの**  
地域再生部地域再生課 岩崎 誠
- 35** | 財団日誌



## 管理職の使命・役割

法政大学大学院教授 坂本光司

「管理職の最大使命はフェロー・メンバーをリードすること」であるということは、超一流企業の常識的管理者語録である。

しかしながら、官民を問わず、様々な組織体における管理職の言動をジッと観察していると、残念ながら、このことを十分理解・認識し、実践してくれている「真の管理職」が、あまりにも少ない気がしてならない。

というのは、仕事柄、地域づくりや組織の活性化調査を依頼され、全国各地の様々な企業や団体、さらには自治体を訪問する機会が多いが、そこでの管理職の言動がそのことを残念ながら証明している。

つまり、話題が地域や組織の「人財」問題に移るや、組織の管理職は、わが意を得たりとばかり「そうなんです。わがまち、わが組織には、先生がおっしゃられるような起業家的才覚を持った積極果敢な『人財』がいないのです…。そこが最大のネックなのです…」と、苦虫を潰したような顔で、決まって発言するのである。

しかしながら、こうした見方・考え方は、誤解・錯覚である。というのは、筆者らの観察では、「人財」のない地域や企業など、全国に一ヶ所もない。神様がバラ

ンスのとれた地域社会や企業社会の形成と発展を願い、「人財」をバランスよく、この世に配員してくれたように、全国どこでも、またどのような組織体にも結構いる、というのが、偽らざる実感である。

しからば、なぜ管理職の多くが、相も変わらず「人財」不在発言を繰り返しているのだろうか。また現実問題として、超一流企業には人財が多いのだろうか。答えは簡単である。超一流企業にあつては「より人財たらん」と意気込む人々を、あらゆる機会をとらえ発掘・発見する努力を行っているばかりか、彼ら・彼女たちにこそ、チャンスと権限を与え続けているからである。

そればかりか、ややもすると、組織の常識を逸脱・出過ぎてしまい、とかく組織からは「変わり者」と嫌われがちな「個性派人財」を、常に温かく見守り、万が一の場合、その努力と行動を全面的にバックアップする「見えざる手」が完璧に機能しているからに他ならない。

つまり、超一流企業においては、元々優秀な人財が豊富に存在していたのではなく、普通の人々を価値ある人財に変身させてしまう見事な組織風土が存在しているのである。

# 商店街の強みを活かした 地域活性化

## 島田憲一氏

埼玉県秩父市商店連盟連合会会長  
前みやのかわ商店街振興組合理事長

## 柚木憲一

一般財団法人地域総合整備財団  
(ふるさと財団) 理事長

灯が消えた商店街をどうしたら元気にできるのか。この悩ましい課題に立ち向かっている地方都市は多いと思います。そこで今回は、30年間さまざまなイベントを展開して人があふれる商店街に生まれ変わった埼玉県秩父市みやのかわ商店街の「仕掛け人」と商店街の活性化についてじっくり話し合いました。行政に頼らず、失敗を恐れずにアイデアを出し続け、若い仲間を信頼して任せきる。商人道にも通じるその取組は多くの気づきを与えてくれると思います。

### 島田憲一氏プロフィール

昭和26年埼玉県秩父市生まれ。県立秩父高校、専修大学経済学部卒業。(株)清水金物代表取締役。秩父市商店連盟連合会会長、秩父商工会議所副会頭。米国カリフォルニア州アンチオック市名誉市民。平成7年地域づくり団体自治大臣表彰。同18年経済産業大臣「がんばる商店街77選」に選定。

## 取組のきっかけは危機感

柚木 秩父市みやのかわ商店街のナイトバザールを核にした活性化の取組は全国でも非常に成功した先例として注目されています。今日はその仕掛け人である島田さんに成功の秘訣をうかがいたいと思います。

島田 最初は全然行動に移らない商店街だったんです。埼玉県指定を受けて勉強会が始まったのですが、ほとんど誰も出席しないというひどい状況でした。1年半ほどたつたときに、これでは「ひどい商店街を指名した。全然勉強しない」と思われて行政に見向きもされなくなるのではないかと、という危機感が生まれたのです。それがまちづくりに取組み始めたきっかけでした。

最初に気が付いたのは、みんな抽象的にはいい町をつくろうとか、活性化させようというのだけれど具体的には案を持っていないのです。それのみやのかわ商店街の将来構想をつくろうと約半年かけて商店街の調査を行いました。

柚木 島田さんがリーダーシップを取って、みやのかわ商店街の人たちでやったのですか。

島田 若手が約20人いたけど、その10人ぐらいのメンバーに呼び掛けて調査し、秩父の将来構想を考えました。総合保養地域整備法（リゾート法）の指定を受けたときだったため、「昔の旧軽井沢のようなモダンな街並み」とか、「秩父神社の森の緑を生かして商店街じゅう植栽したらいい」などさまざまな意見が出ました。秩父という狭い地域に住んでいる人たち、全員がばらばらな考えな

のですが、誰も間違ったことは言っていない。これを何とか一つにしようということで毎週1回ずつぐらい集まり、住民からもヒアリングして半年かけて「商店街の将来構想づくり」を始めました。

## 「早起きは無理」と夜市に

柚木 それには行政も入っていたのですか。

島田 入っていないです。模型までつくって行政のいろんな出先機関に「こんな街をつくってください」と持っていったわけです。ところがあるメンバーが「汗をかいて取組むことが活性化だと思う。計画づくりで活性化した街なんか見たことない」と言うわけです。それで一緒に汗をかくイベントをやることにしました。

最初は「朝市」だったのですが、われわれは30歳前後。「朝早く起きて続くはずがない。夜にしちやえばいいじゃないか」となって、「夜市」に決まりました。「夜なら『秩父夜祭』というイメージもあるじゃないか」という後付けの理由もいっぱいあったわけです。ただわれわれはすぐめげちゃうタイプなので、連続して6回目までは失敗しようが何だろうがやると決めました。お金はできるだけ使わず、公平に全員の割り勘としました。柚木 特設会場や出店ではなく、お店の中で売るといふことですか。

島田 「一生に一度でいいから東京の新宿や銀座の歩行者天国みたいに、いっぱい人がいる中で商売してみたい」という話が出て、「1回目だけは徹底的に人集めをしよう」となりました。商売

は個店の努力。商店街全体では人集めが使命だということなんです。

柚木 夜はそんなに売れない店もあると思います。が、そういうお店にも開けてもらったのですか。

島田 お願いはしましたけど、「無理しなくても結構です。閉めてもいいですよ」と言っただけです。ただ「軒下の電気だけはつけておいてください」とお願いしました。それでも1回目ときには7〜8割のお店は開けてくれました。

## 3店回れば無料福引き

柚木 人を集めるためにどんな仕掛けを行ったのですか。

島田 ガラポンという福引きをやることにしました。普通は買い物をしてしなさいとさせないのですが、



対談場所

対談が行われた「ゆの宿 和どう」の温泉は、武田信玄が和銅金山を開業した時に開かれたといわれる和銅鉱泉で、近郷の人々が目薬や切傷に使用してきたと伝えられる「薬師の湯」。大浴場は、春は桜、秋は紅葉に包まれる横瀬川の流れを眺めながらゆったりと入浴できる。平成17年の施設改築時にはふるさと融資が活用された。



そんなけちなことを言わないで、夜わざわざ来てくれたのだから無料でさせよう。ただ3店だけスタンプラリーで回ってもらうことにしました。これが後で売り上げを上げるきっかけになったんです。

**柚木** それはどういうことですか。

**島田** 個人商店って入りづらいでしょう。知らないお店、ちっちゃなお店は入ると買わなければいけないような雰囲気がありますよね。個店はいかに店の中に人を入れるかです。それで「いらっしやいませ、福引きですか」と、にこにこしてスタンプを押してやろうよ、と話し合いました。こ

れが後々すごく平日の売り上げを伸ばしているんです。

でも福引きだけでは人が商店街に来るわけではないというところで、チラシに1000円のみただ券を付けようと考えました。ところが役員に「3万4000枚まきます」と言うので「3千400万円分をただでまく気か。商人の考えることじゃねえ」と怒られ、駄目になってしまいました。

**柚木** 若手のアイディアも親父世代に阻まれてしまったのですね。

**島田** それで「ナ・イ・ト」に引っ掛けて710

円以上お買い上げの方に500円のサービスをすることにしました。お店に半分の250円を負担してもらい1回限りという約束で、1回目のナイトバザールは福引きと500円のただ券で勝負したのです。時間は夜7時から11時にしました。当時、うちの商店街は真っ暗だったので、参加するお店に全部裸電球をつるしたら、夜店風でよかったです。

10月から6回毎月やることにしたのですが、ほかじゃないかと言われました。秩父の12、1、2月は氷点下。「暖かくなつてからやれ」と言われたのですが、私たちは火が付いているわけです。半年たつたらやる気がなくなるじゃないですか。それで強行したんです。

1回目は台風が来て土砂降り。6時半ぐらいに雨がやんだのですが7時の段階ではほとんど人がいません。ところがそれから30分の間にどこからともなく人が湧いて出てきて商店街の歩道がいっぱいになって車道を歩くぐらいになってしまったのです。それまで行列ができる店なんて一軒もなかったですから。夢が実現しちゃったんです。この第1回目が商店街の仲間の意識を一斉に変えたんだと思います。

**柚木** そうですよ。

**島田** 2回目は500円のみただ券を使えませんか、福引きは継続し、「じゃんけん大会」と「夜馬車」をやったんです。ところが面白いんです。商店主は最初お付き合いで「〇〇商店」としか書いていないんですが、人が出ることが分かったら、「店内1割引」とか「店頭特価品」と、チラシの内容



がぐつとよくなるんです。物が売れ始め、みんなが調子付いたのが2回目でした。

**柚木** 個店は自分たちのできる範囲内で割引をするわけですか。

**島田** そうそう。個店個店で勝手にやれということです。こうして2回目も大成功に終わったけれども問題が出てきたのです。人が出過ぎて車道を歩くぐらいになり、危険だということで「歩行者天国」を警察にお願いに行きました。最初一商店街のイベントで国道を止めるなんてとんでもないと言われたのですが、ようやく認めてもらえました。

### 若手だけで「実行委員会」

**柚木** 長老がちやちやを入れてきたりすることがありますが、そういうことはなかったのですか。

**島田** 主体が商店街組織だといちいち役員のご了解を取らなければならぬので、勝手に「ナイトバザール実行委員会」をつくり、主催しました。金づくりも何も全部自分たちでやり30年になりました。222回まで毎月やっていたのですが、「みやのか商店街はナイトバザールしかできないんだね」と言われ、それが悔しくて、何か違うことをやるために隔月にしました。

5年目までは全部自分たちでやってきたのですが、鹿児島から視察に来た人が市長に、「市はどういう支援をしているのですか」と聞いたことがあります。それをきっかけに市の支援を受けられることになり、実行委員会から「みやのか商店街振興組合」という組合をつくり法人化しました。そして初めて4000万円の補助金を頂き6000万円で裸電球だった街路灯をきれいにするなどのストリートファニチャーと環境整備事業を行いました。そのときにイベントは手段だったことにみんなが気が付いたのです。私たちの夢であった将来構想が目的。目的と手段がはつきりしたのです。

**柚木** なるほど、別に実行組織をつくったのですね。5年も自分たちだけで続けたのはすごいことです。みんなの自信にもなったでしょうね。

**島田** それまで商店街の事業に協力のなかった商店主が大金を寄付してくれました。「お前たちは本当によく頑張っている」と言っただけ。その時はさすがに胸にジーンとききました。

### 同じものがないう800イベント

**島田** 30年間で私たちがやるミニイベントは800以上になりますが、1回も同じことをしていません。毎回変えます。コツをつかむと全然大変じゃないのです。例えば空き缶を例にすると、積み木のように縦に積み上げる、まとめて積み上げる、転がす、投げる、蹴飛ばす、つぶす、バケツに放り込む、などと全部違うイベントになるの



でも賞品の3000円、4000円の話。全部任せないと育たないのです。自分の考えたことを表現して成功したり失敗したりしてリーダーを育てていく。そして継統のよさは失敗できることです。リベンジすればいいのです。

**柚木** イベントは商店街の真ん中あたりでやるわけですか。

**島田** 真ん中でやるとそこに人が集中してしまい、端のお店なんか関係ないでしょう。だからイベントはあちこちにちりばめます。また雨が降ったときだけの「雨が降ったらイベント」もやりました。10万円で中古車を買って、「夜7時から9時までの間に1ミリ以上の雨が降ったら710円でお売ります」とやったんです。雨を逆手にとった抽選ですが、話題になりました。

### 「楽楽屋」「おたすけ隊」で福祉分野に

**柚木** ナイトバザールだけでなく商店街として新たな取組もされていますよね。

**島田** 商店街として福祉事業を始めました。障がい者との会話がきっかけで、最初は有料の買い物代行。しかし高齢者などが望んでいるのは「自分で買い物をする」と指摘され、出張商店街楽屋らぐやを加えました。物を売るといことは人に楽しみを売る商売。買い物ができない人がいるのだったから持つて行って売ってあげるの商人としての務め、と感じるようになり、3日に1回ほどのペースで約10年やっています。

そのうち行政の人から「秩父郡市約11万人のう

ち3万人以上が高齢者で、5000人は介護認定を受けていて、ひどい状況です」と言われたのです。その瞬間、2万5000人以上の元気なお年寄りがいることに気づき「その人たちが地域や困った人のために汗を流したら、日本で一番いい町になれるのではないか」と逆転の発想で考え、生まれたのが「ボランティアバンクおたすけ隊」です。

これは困った人の依頼を受けて1時間単位で元気な高齢者を派遣し、依頼者は1時間800円をチケットで支払い、ボランティアにはお礼として500円分を商品券で渡します。その商品券が…。

**柚木** 「和同開珎」。最古の全国通貨で、秩父が発祥の地ですよ。

**島田** そうです。文化遺産を活用した日本初のコイン型商品券です。2時間で1枚もらえますが、みんな20時間とか30時間分を貯めて交換しています。タクシーも乗れるし、市内の400店舗で使えます。埼玉県の上田知事が、『共助』の一番いいモデル。民間で始めることを待っていた」と言っていて、県内全市町村にこの仕組みが伝わりました。

「何で商店街でそんなことまでやるんだ」と言われますが、商店街は地域の役に立たなかつたら駄目なんです。

**柚木** 絶対そうですね。

### 商店街再生、「お得意さん」がキーワード

**島田** デイサービスで会ったおばあちゃんが、「違う色が欲しかったんだ」と言えば、衣料品屋が家まで届け、いつの間にかおばあちゃんの衣類は全

です。もう一つは逆転の発想です。スイカ割りも夏やるからつまらない。1月にやるんです。変化のないところには絶対に進歩はありません。

**柚木** 毎回そうやってアイデアを出していかなくちゃいけないから、自分たちも楽しい？

**島田** これが人を育てるんです。若手が「一番遠くに投げたやつが勝ち」という新聞紙投げをやりたい」と提案したときに絶対に否定しないです、やらせます。お任せ主義と僕は言っているのだけれど、「任せた」と言ったら一切口を出しません。決裁権までそいつに全部持たせる。決裁権といっ



部その衣料品屋の品物になってしまいました。私たちがやってきたことは、お得意さんづくりに役に立ってきたんです。商店街の再生は「お得意さん」がキーワード。これに気が付いてほしいんです。お得意さんが増える仕組みを考えていけば商店街が疲弊していくのはストップできます。みやのかわ商店街はほとんどお店も閉まらず、後継者もみんないます。

柚木 秩父市の核となるみやのかわ商店街が常にマグマみたいに燃えているから、人気アニメ「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない(略称「あの花」)」ブームだとか、パワースポットブームだとか、いろんなものをキャッチして活用してきたのですね。

島田 「あの花」は秩父が舞台でアニメの聖地になり、私たちもコスプレ大会やスタンプリーなどすぐに対応しました。今では秩父はアニメ先進地になっています。秩父の人たちもこんなにいっぱい地域に資源があったことに気が付き始めました。最近では雲海まで売り出しています。あとはアルコール。ビールができさえすれば、ビール、焼酎、ウイスキー、日本酒、ワイン、これが全部地元産で飲める町。多分日本でここだけです。

柚木 これだけ民間の力があるのは秩父のお祭りがベースになっている。これは間違いなくありますよね。

島田 お祭り人間なんです。秩父は地元に住たいと思う若者が多く、それは祭りに関わっている人

### みやのかわナイトバザール (夜市)

秩父鉄道秩父駅前通りと駅前交差点の左右200メートルを中心としたみやのかわ商店街(105店舗)で、昭和62年(1987年)10月から地域の伝統祭りである「秩父夜祭」にヒントを得て、地域活性化策として第3土曜日に実施。天候にかかわらず約20年間、222回まで毎月継続。現在は12月を除く偶数月の第3土曜日午後7時から開催。



たちなんです。祭りがあることがまちづくりのエネルギーの一つにはなっています。

柚木 なんて島田さんは商店街の理事長を退かれたのですか。

島田 60歳を過ぎたし、いろいろな役職依頼も来るので交代しようと思って、片腕だった同級生に「理事長やってくれ」と言ったら、「俺たちの世代で役職を回すものではない。そんなことも学んでいなかったのか」とすごく怒られたのです。それで理事長・副理事長を一斉交代し、今は40代が中心です。しかも平理事に降格。「今度は島田さんたちが俺たちを手伝え」、「顔が広いのだから頼みに行くときは全部やって」と命令されました。そこもうちの面白いところです。

# 「秩父夜祭」がユネスコ無形文化遺産に

凍てつく秩父の街を熱気に包む「秩父夜祭」。12月2、3日に開かれる秩父神社例大祭の「つけ祭」で、最大20トンにもなる極彩色の山車6基が市内を曳き回され、花火が夜空に大輪を描きます。京都・祇園祭、飛騨・高山祭と共に日本三大曳山祭の一つに数えられ、300年以上の歴史を持つといわれます。平成28年12月、「地域で世代を超えた対話と交流を促進し、コミュニティを結びつける重要な役割を果たしている」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

秩父神社の例祭は12月1日から6日までですが、秩父夜祭と呼ばれるのは2日の宵宮（前夜祭）と3日の大祭です。江戸中期に秩父神社に立った絹織物の市、「絹大市」の最終を飾る一大行事として発展、その後日本を代表する祭りとして知られるようになりました。秩父神社にまつる妙見菩薩さまと武甲山に住む龍神さまが年に一度、3日にお旅所で逢い引きをするという天地合流の祭という言い伝えもあります。

## 極彩色の笠鉾・屋台を曳行

夜祭の主役は中近笠鉾、下郷笠鉾と宮地屋台、上町屋台、中町屋台、本町屋台の山車。釘を使わずに組み立てられ、極彩色の彫刻と後幕の金糸の刺繍で豪華絢爛です。笠鉾は架線に当たらないように本来ある3層の花笠を外しています。屋台は曳行の途中、辻や町会所、秩父神社前などで止め、曳き踊りと呼ぶ屋台行事の所作事を行います。また、当番町は左右に張出舞台をつけて芸座を組み立て、時代物の歌舞伎を上演します。

山車は12トンから20トン。数百人の曳き子の呼

吸を合わせるため太鼓や笛のお囃子がリズムを刻みます。クライマックスとなる急な団子坂にかかると高い調子の笛とドンドン、ドンドン、ドンドンと大太鼓の力強い音が響き渡り、山車は勢いよく曳き上げられてお旅所を目指します。

## 20万人が訪れる冬の祭に

山車は昼も練り歩きますが、ハイライトは夜。ぼんぼりに灯が入ると黄金色の笠鉾・屋台が浮かび上がります。そして夜空には7000発のスターマインが勇壮な山車の曳き回しを祝福するかのよう打ち上げられます。

周辺広場などにはお祭りの楽しみである飲食などの露店が並び、西武鉄道と秩父鉄道は臨時電車を運行。約20万人が訪れる首都圏の冬の祭として定着しましたが、それ以上に地元秩父にとって身近で大切な行事になっています。山車の管理や組み立ては各町内会の責任。国の重要有形民俗文化財と重要無形民俗文化財に指定されている夜祭の準備は通年作業です。夜祭は秩父の魂で、エネルギー源といえるのかもしれない。



「ふるさと企業大賞」に輝いた

# 社長に 聞く

愛媛県 ■ 東温市

株式会社レスパスコーポレーション  
代表取締役社長 越智 陽一氏

温泉に劇場も、  
ユニーク複合商業施設で  
広域集客

ショッピングセンター（SC）など大型商業施設の永遠の課題は、「どうしたら多くのお客様に来てもらえるか」ではないでしょうか。そのため立地条件を踏まえて消費トレンドを探り、科学的なマーケットリサーチを行い、先行成功例を参考にするなどあらゆる知恵を絞ります。今回このコーナーでご紹介する四国・愛媛県東温市の株式会社レスパスコーポレーションが運営するレスパスシティは、物販の商業施設ばかりでなく癒やしの温浴・宿泊施設や地域文化を発信する常設の「坊っちゃん劇場」にスポーツ施設まで併設するユニークな複合商業レジャー施設。物販・飲食を中心とする多くのSCとは一味も二味も異なるコンセプトで、他県からの広域集客を実現しています。この「時間消費型」の大型SCを牽引する越智陽一社長にその狙いと展望などを伺いました。

## 「体だけでなく心も洗ってもらおう」

アウトレットと温泉施設を  
核に構想

平成2年に設立されたレスパスコーパーションは、まず日本ではまだほとんどなかったスーパーマーケット、ホームセンターとファーマシー（薬店）を合わせた近隣型の複合SCを約3年後につくりました。さまざまな購買ニーズに対応でき、店の前に駐車場を持ち、短時間で日常的な買い物ができるのが特徴で、順調に成功を収めます。

それから数年。今度は親会社が運営していた養鶏場が移転した後のスペースをどう有効活用するかが求められました。場所は郊外で敷地も広いため、広域から集客できる大型の商業施設にするというコンセプトが固まり、具体的な構想づくりが開始されました。

地域密着型のSCは経験済みでしたが、広域型は初めて。物販の商業施設だけでなくから人を呼ぶことはできません。そこで「核として考えたのがアウトレットと温泉施設でした。アウトレットはまだ東京と大阪に数店舗しかなく事業としては不安もありましたが、商圏は半径1000<sup>キ</sup>ともいわれ、広域集客に繋がる可能性が高いため挑戦することにしました」。こうして中国・四国で初となるアウトレットモール「クールス・モール」がスーパー

マーケットとホームセンターの商業ゾーンに誕生します。

## 温泉は太古からの贈り物

商業ゾーンとは性格が異なる温泉施設にはこだわりが詰まっています。地下1500メートルの白亜紀末期（約7500万年前）の砂岩・泥岩層から湧出する温泉は地上に汲み上げても約50度と高温で、湯量も豊富です。浅い花崗岩層から汲み上げる道後温泉や奥道後温泉とは泉脈が異なり、泉質はナトリウム塩化物・炭酸水素塩温泉（低張性弱アルカリ性高温泉）。何より源泉が深いため温泉成分が濃く、神経痛や筋肉痛に効果があるとされます。

この貴重な資源を活用し、「この辺りには朝湯の文化があり、お風呂は身近な楽しみとして定着していましたから半日、1日をゆっくりと過ごしていただいて体を洗うだけでなく心も洗ってもらえる、という新しい価値を提供してみよう」と、日帰り型温泉施設というコンセプトを固め、訪れる人に与える驚きと感動の具体策探しに入りました。

「自然を借景した箱根の有名な温泉施設の設計者に依頼し、最大で1個10<sup>ト</sup>もの自然石を配して野趣あふれる野天風呂を実現しました。お風呂の種類も岩風呂、滝



男性、女性風呂で異なる自然石を100トンを以上も運んで完成した野趣あふれる野天風呂

風呂、洞窟風呂、寝湯、サウナなど各種揃え、さらに驚きを与える仕掛けも10以上考えました。例えば、脱衣場に入ると野天風呂が目の前に広がってワクワクするようにしたり、リラックスメームには一人ひとりが見られるテレビを付けたりました。家族風呂も20室つくって檜風呂、岩風呂、大理石風呂などすべて違う造りにし、食事も高級店のレベルのものを提供しています。また市内に宿泊施設が1箇所しかなかったため、48室150人収容の宿泊設備をつくりました。】

### 3割以上が県外という 広域集客を実現

施設にこだわったのは経営面からの要請が背景にありました。「事業計画は緻密に行いました。温浴、家族風呂、レストラン、宿泊の各部門それぞれが単体で黒字化できるように考えました。そのために徹底的にマーケットリサーチを行い、競合施設に社員を配置してデータを集めたこともありました」。損益分岐点はあくまで単体で捉え、複合することで得られるメリットはプラスαと考える。個々の事業品質で競争力を持たなければ全体でも勝てないという堅実な経営姿勢の表れといえるでしょう。建設に際して、ふるさと融資2億1千万円が活用されました。

平成12年7月に温泉を核にした新しい形態の複合レジャー施設が完成しました。この西日本最大級の野天風呂「見奈良天然温泉・利楽」のお披露目は、地元ばかりでなくご案内した中国地方のテレビ局がすべて取材して放映。3割以上が県外からという広域集客を実現したのです。「1年目の収支は複合効果もあつて予算の108%を達成しました。遠方から1泊で来られる方もおられますし、多くの方にリピートしていただいています。平日は車で四国を回られる出張のビジネスマンの方も利用されます。市内にある愛媛大学医学部への受験生の宿泊にも喜ばれています。また自分へのご褒美として温泉に入つて、少し豪華な食事をされる女性もおられます」と、越智社長は利用客層を紹介されました。観光地にありがちな歓楽的な温泉ではなく、大人のゆったりとした時間の流れを楽しみ、「心も癒やす」という新たなコンセプトが地元ばかりでなく広く受け入れられたことの証明です。4年目には別館を増設するなど経営的にも順調に推移しました。

### シネコン頓挫し坊っちゃん劇場に

2300台の駐車場にスーパーマーケット、ホームセンター、それにアウトレットモールと温浴施設で開業したのは第1期分。

レスパシテイの敷地にはまだ十分余裕がありました。次の事業計画としてシネマコンプレックス（シネコン）を予定していたのですが、想定外の競合施設が近くにできることになり、頓挫してしまいました。

ではどうするか、と考えていたときにオーナーの宮内政三会長の知り合いの不動産屋さんが「映画が駄目なら劇場をやつたらどうだろう。知り合いの劇団の社長に会ってみたら」と代替案を持ち込んできました。相手は秋田県を拠点に活動する劇団「わらび座」。越智社長は大学時代に演劇に携わっており、わらび座も知ってはいましたが、マーケットの小ささからビジネスとしては難しいと断ります。しばらくして再度公演を実際に見てほしいと誘われ会長に話すと、「昔見たことはあるが寝ていた」とけんもほろろでしたが、知り合いの紹介でもあり、ミュージカル「つばめ」を観劇することになりました。

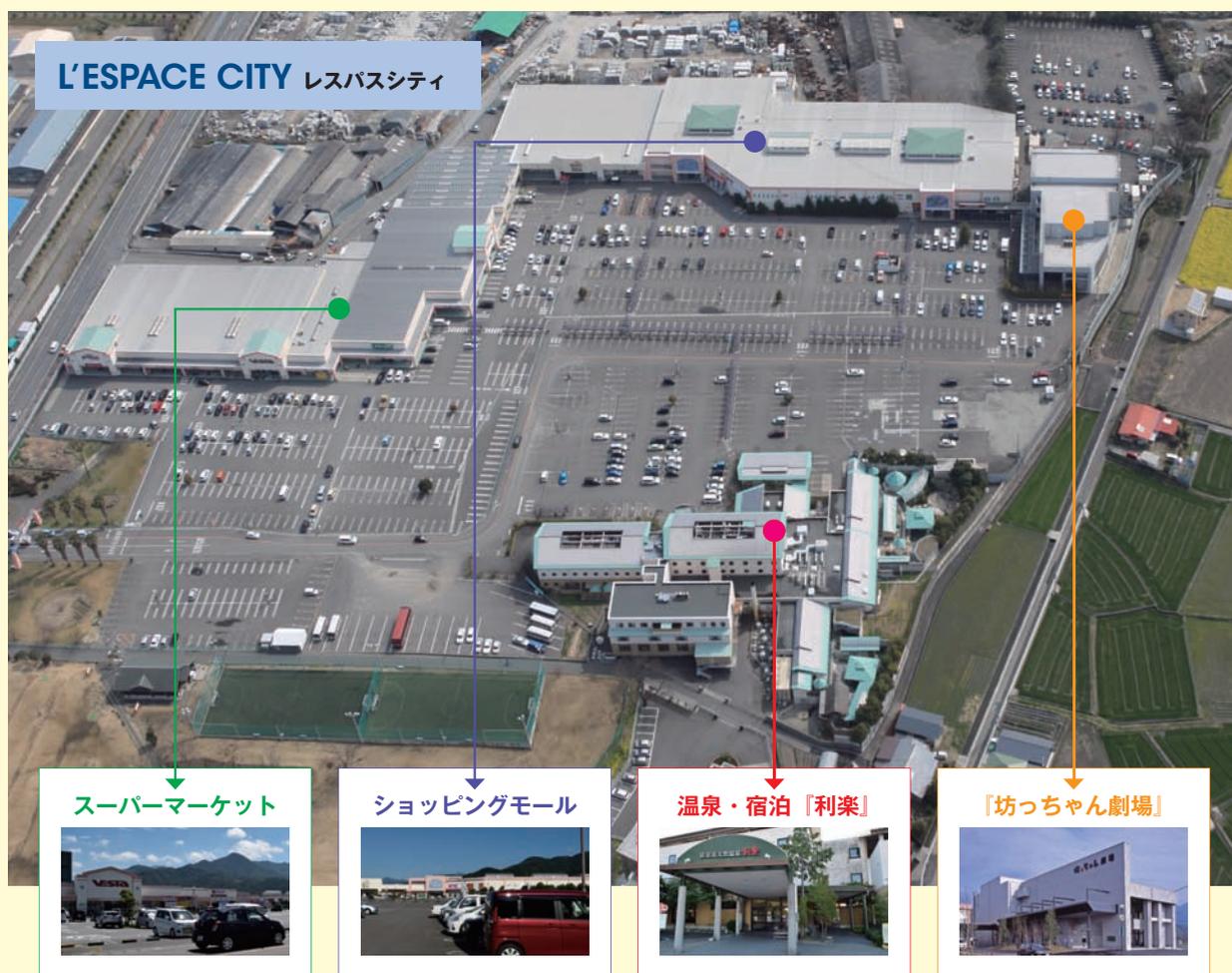
この作品は、秋田―ソウルの国際定期便就航1周年を記念してジエームス三木氏が脚本・演出を手掛けられた「国境も時代も越えた人間同士の魂の響き合いを描いた」オリジナルのミュージカルで、見終わつた宮内会長の目は真っ赤。「世の中にこんな感動するものがあるとは知らなかった。何回も泣いてしまった」と。生の舞台演劇のパワーと魅力に心をわしづかみにされてしまったのです。

## 「複合メリットは除外、各事業単独で黒字化を」

### オール反対の中、 壮大な挑戦を決断

宮内会長は「次世代を担う子どもたちの情操教育に繋がる地域貢献として舞台芸術を根付かせたい」と希求しますが、事業化は簡単ではありませんでした。越智社長は、文部省時代に新国立劇場の建設にも関与された加戸守行県知事(当時)や文化活動をされてきた専門家の意見を聞いて回りますが、みんながみんな「素晴らしい文化事業ですね。でもビジネスとしては成り立ちませんからお止めなさい」。2年ほど慎重に検討し、「無謀だといわれるかもしれないが壮大なチャレンジと考えて、やってみるしかない」と決断、加戸知事(同)に報告に行きます。すると「敢えて決断されたのなら県知事として全面的に応援しないわけにはいきません」。行政の力強い後押しを得ることができたのです。

それでも社内の役員会を説得するのは容易ではありませんでした。「5年間だけやってみる」という方向性を決めたものの、建物建設と運営でざっと8億〜10億円が掛かります。役員会で、「この投下資本は何年で回収できるのか」と聞かれ、越智社長は「回収できないかもしれない。捨てたと思ってください」。「企業がやるものではない」という反対は当然ともいえました。結局、劇場ができるまでの2年間は宮内



会長の「地域への恩返しとしての個人事業」というイレギュラーな形で動き始めることとなります。

平成18年4月、名誉館長ジェームス三木氏の脚本・演出によるミュージカル「坊っちゃん！〜江戸っ子坊っちゃん、松山で恋をする!?〜」がこけら落とし公演として上演されます。この初日を観た役員全員が「素晴らしいものをつくった。これは地域の宝物だ」と感激。会社の事業として取り組むことが正式に決まりました。

### 地域ゆかりのテーマで常設公演

このように紆余曲折を経た坊っちゃん劇場は偶然の産物ともいえます。わらび座と共同で設立されたものの当初は「3年持つだろうか」と心配されました。しかし、既に12年目に入り、ほぼ年1作のペースでオリジナル作品をつくり、年平均270日の公演を行っています。作品には、ミュージカルコメディ「我が輩は狸である」、ミュージカル「龍馬!」、ミュージカル「鶴姫伝説」、奇想天外歌舞音曲劇「げんない」など地元愛媛や四国、瀬戸内海にゆかりのテーマが並び、11作目となる今年は子規・漱石生誕150年記念のミュージカル「52 days 〜愚陀佛庵、二人の文豪〜」で、東京公演も行いました。笑いあり、涙あり、感動あ

り。地域文化を発信する西日本初の常設劇場としてすっかり定着したといっても過言ではありません。

特筆されるのは、ミュージカル「誓いのコイン」のロシア公演です。日露戦争で捕虜になり、治療のため松山に送られたロシア兵と日本赤十字社の看護婦(当時の呼称)の名前が彫られた10ルーブル金貨が発見されたという実話に題材を取った作品ですが、ロシア政府から日本の舞台芸術史上初めて正式に招請され、平成24年にモスクワとオレンブルグで公演が行われました。

ロシアからも外務省からも高い評価をいただき、追加公演の話もあったのですが、費用捻出も大変です。そこで越智社長が考え出したのは、超高解像度の8K画像で固定撮影したビデオをつくることでした。アップにしたりしないで全体画像に固定することで劇場と同じような見たいところが見られる環境を作り出せるのです。8Kだから実現できることですが、不可能といわれてきた舞台芸術の産業化へのヒントが隠されているかもしれません。

### 見終わるとみんなが笑顔に

「開業当初ほとんどの来場者は舞台演劇を見るのは初めてです。義理でチケットを買わされたような人も多く、劇場に入る時

はみな怒ったような顔をしているのですが、出てきた時には100人が100人大満足という笑顔なんです。これを見た時、やっつけて良かったと感じます。SCも安さだけを売り物にする時代ではないと思いい、お客さまの生活に潤いを提供できるようにしたいと考えていました。そういった意味で文化事業はアリでした」と、壮大な挑戦の意義を話します。

「まだ赤字ですが、損益分岐点が見えてきました。昨年には地元金融機関3行から限度いっぱい5%ずつ計15%の出資をしていただきました。これは投資ではなく、地元金融機関も劇場とともに地域の文化振興に携わっていることの証だと言われました。3年目あたりから幅広い支援の輪が広がってきた感じがしています」。東温市は今年、舞台芸術を地域振興に繋げる「アート・ヴィレッジとうおん構想」を策定。坊っちゃん劇場を中核に多目的稽古場や小劇場を建設し、移住・定住の促進も図ろうと動き始めました。受け入れられるのに時間が掛かるのは仕方ありませんが、手応えは十分です。

坊っちゃん劇場を完成させたレスパシティは平成23年、商業ゾーンに日本最大級の地元産直市場「あさつゆマルシェ」をオープン。600軒の契約農家から搬入される新鮮な野菜・果物・特産品などを販売しています。設備の拡充は商業ゾー

## Company Profile

### 概要

会社名	株式会社 レスパスコーポレーション
事業内容	ショッピングセンターの企画・管理運営、温浴施設の運営、衣類販売、飲食店運営など
従業員数	184人
会社系列	ピージョイグループ
会社HP	http://www.lesp.co.jp
所在地	〒791-0211 愛媛県東温市見奈良1110 電話 089-955-1216 FAX 089-955-1270

### 沿革

平成2年	愛媛飼料産業（株）の不動産部門から独立し会社設立
平成5年	愛媛県砥部町にショッピングセンター「リバーサイドショッピングセンター」開設
平成12年	東温市に「見奈良天然温泉利楽」オープン（ふるさと融資活用）。レスパシティをオープン。アウトレットモール「クールス・モール」オープン
平成13年	パークゴルフ、グラウンドゴルフなどのレジャー施設「ジョイグリーン」オープン
平成17年	グループ会社（株）ジョイアートがレスパシティ内に常設型劇場「坊っちゃん劇場」を設立
平成22年	松山市立子規記念博物館の指定管理者を受託
平成23年	産直物産市「あさつゆマルシェ」オープン
平成26年	愛媛県生涯学習センター・えひめ青年少年ふれあいセンター指定管理者を受託
平成29年	「道後温泉別館飛鳥の湯泉」の指定管理を受託



ゲートをくぐるとショッピングも温泉もミュージカルもという別世界が広がる

## 「SCはお客さまの生活に『潤い』を提供する」

ンばかりではありません。パークゴルフ、フットサル、グラウンドゴルフの認定コースを整備し、レジャー施設の充実も図りました。また、車いすの障がい者と住民らが交流しながら走る「重信リバーサイドチャレンジ車いすマラソン」を地域と協力して開催。周辺には春に菜の花、秋にはコスモスを200万本植え、訪れる人の目を楽しませていきます。こうして松山市に隣接するとはいつても人口3万5千人ほどの東温市で温浴施設に年間約25万人、レスパシティ全体では約340万人もが来場

### 競合増え、リニューアルへ

する大型の複合型SCに成長したのです。

「苦労はありましたか」と聞くと、越智社長は少し間を置いて「今かな」と答えました。それは装置産業の宿命かもしれない老朽化に対するリニューアル時期に差し掛かってきたためでした。「最初は競合施設がなく、広い範囲のお客さまに来ていただけていたのですが、似たような

施設があちこちにでき始め、商圏は狭くなっていきます。近くに新しい同じような施設があればそちらに行くのは当然です。そのためにはよりお客さまに喜んでもらえ、癒やしを感じてもらえるようリニューアルを進める予定です。

核となる温浴施設では2本目の源泉を掘削。この豊富な温泉資源をどう使うかの工夫が悩ましいところですが、果敢に挑戦する道を選択してきた越智社長。また周りをあつと言わせるリニューアルになりそうです。

# 地域貢献企業の会 入会のご案内

会費は無料です。是非ご参加ください!!

## 入会資格

- (1) 正会員：地方公共団体によるふるさと融資を受け、またはその予定である法人
- (2) 地方公共団体会員
- (3) 一般会員：金融機関、ふるさと財団が推薦する法人または個人

※会員間における交流のための情報開示が可能な方が前提となります。

詳しくはこちら

ホームページアドレス <http://chiiki-kouken.org/>

## 地域貢献企業と地方公共団体と金融機関の ネットでの交流の場をご提供します！

地域イベントや特産品PR、求人などにご活用ください。

- 会員紹介ページ（都道府県・業種別）
- 掲示板・交流広場（会員からの各種お知らせ、PR、意見交換等）

### 会員紹介ページ（例）

### 掲示板

地域貢献企業の会 検索

地域貢献  
企業の会

ふるさと ひろがる

### ■入会のお申し込み

下記メールアドレスまたはホームページまで  
E-mail : [chiiki\\_koken@furusato-zaidan.or.jp](mailto:chiiki_koken@furusato-zaidan.or.jp)

### ■問い合わせ先

地域貢献企業の会 事務局  
一般財団法人地域総合整備財団<ふるさと財団>内  
TEL:03-3263-5737 FAX:03-3263-5732



地域産業の育成と発展を支援

## 新技術 × 地域資源 開発補助事業

現・ふるさとものづくり支援事業

木目も美しい製品群。時計回りにメガネケース、万年筆ケース、名刺入れ、マウスパッド

企業等の新技術や地域資源を活用した新商品開発等に市町村が支援する場合には、ふるさと財団がその市町村に補助金を交付して支援します

金属やプラスチックと違って塑性加工を行うのが難しいとされてきた無垢材に独自の技術を施して曲げ加工を実現、優美な曲線を描いて強度も弾性もある高級感あふれる製品をつくることに世界で初めて成功しました。今のところ製品は雑貨に限定されていますが、無垢材には独特の温かさや風格があり、将来さまざまな用途に広がる可能性を秘めています。成功したのは、新潟県の「にいがた・ニューエジソン育成事業」にも認定されたベンチャー企業。代表取締役の木村和久さんに開発の経緯やご苦労を聞きました。



新潟県 ■ 小千谷市

ストーリーリオ株式会社

## 世界初、無垢材の 曲げ加工装置を 開発し製品化

## 「日曜大工応援隊」で起業

家電メーカーで開発に携わっていたエンジニアの木村さんは、大量生産から多品種少量生産に移行してきていた製造業はインターネットの普及で1品多様生産の時代に移っていくのではないかと考え、新しいビジネスモデルを探し始めます。そして自分でもできるネット時代のニュービジネスとして「日曜大工応援隊」にたどり着きます。DIYが一般化し、家庭内で棚や机などを自分で作りたいと考える人が増えてきていましたが、なかなかうまくいかないことも多いものです。そんな時、インターネットを使って注文するとプロの職人がきれ



「日曜大工応援隊」でお客様に納品した棚やモニター下のラック。送られてきた画像でお客様の満足度も伝わる

いに加工したキット化製品にしてくれるなら喜ばれるのではないだろうかというスキームです。オーダーメイドの木材加工にしたのは、金属加工よりニーズが多いと考えたためですが、木村さんの実家が山林も有している農家で木が身近だったことも影響しているかもしれません。

「始めたといっても、会社員を退職したわけではなく『週末起業』でした。ネットでオーダーメイドの家具を注文するところはまだありませんでしたから、ホームページ上に加工の工程ごとの価格を明示した注文フォームをつくりました。また10万円を超える場合には半金を前払いで頂きますが、それ以外は後払いにしました。しかし最初の注文が来たのは3カ月後。月商20万になるのに1年掛かりました」。それでもユニークなビジネスモデルは「にいがた・ニューエジソン育成事業」に採択され、起業から4年で会社を興し、独立します。平成16年8月のことでした。

### 曲げ木技術に出合い製品化へ

創業して2カ月。「さあ、これから」という時に「新潟県中越地震」が襲います。協力工場もすべてストップ。事業は振り出しに戻ってしまいますが、注文は次第に増え、経営は順調な右肩上がりを示すようになります。ところが「ニッチですが知られるようになってく

ると、机や棚を専門にしている家具製造の会社がつくりなホームページをつくって真似してきたのです」。先行はしていても大手との競争は脅威です。「真似ることができない事業をつくって、『日曜大工応援隊』の木材加工分野との2本柱体制にしたい」。木村さんは経営的な側面から新たな事業の芽を探し始めます。

そんな折、新潟県工業技術総合研究所の研究者が曲がったり輪状になったりした無垢の木片を見せてくれました。加工された薄い木片には十分な強度も弾力もあります。「これまで木材は成形合板などにポリマー処理をすることで強度を増し、曲げることができるようになってきていました。しかしこれは1枚の無垢材で革新的な技術です。新しい技術は新しい製品を産むもの。素晴らしいものができるのではないだろうか」。この曲げ木技術はこの研究者が取組んできたもので、無垢材に熱可塑性樹脂を含浸重合させ、加熱軟化・冷却固化を可能にしたのですが、まだ発展途上の基礎研究段階で実用化はされていませんでした。

### 割れ、変形と失敗の連続

木村さんのエンジニアの血が騒ぎます。「このシーズ（種）となる技術を基に製品化した」。平成23年、試作品を県のニイガタIDS（イデス）デザインコンペティションに出品すると高い評価をいただきました。しかし製品



原料となるカエデ材。生育環境が分かる地元産を使っている



こうした原料から一生ものの製品が生まれる。写真は万年筆ケース

化に必要な曲げ加工機をつくるのには高額の費用が掛かり、資金面で不安がありました。そんな時ふらさと財団の「新技術開発補助金」で1000万円の支援が実行されたのです。平成24年のことでした。「この補助金をいただけなかったら製品化はできませんでした。本当に助かりました」。木村さんは実感を込めて振り返ります。

しかし製品化への道は平坦ではありませんでした。世界で誰もつくっていないのですから参考にするものもありません。県工業技術総合研究所と二人三脚で失敗を克服しながら

製品化を目指します。

「最初は薄いものを90度曲げるのが精一杯でしたが試行錯誤を繰り返しながら2、3ミリでも180度曲げられるようになりました」。デザインを決め、その設計通りに曲げ加工を加えていきますが、「割れてしまったり、ひびが入ったり、変形したりと失敗が続きました。10個つくって1個うまくいくかどうかでしたが、その成功データを基に少しずつ製品化を進めていきました」。無垢材はミリ単位の薄さですが、強度は普通の木材の約4倍。厚さ3ミリの無垢材で最小半径10ミリという小さな曲



完成した世界初の製品を前に開発の苦労を話す木村和久さん

げ半径を実現。曲げ加工の時間自体は短時間で、量産化にも対応可能です。

### 無垢材は小千谷周辺に限定

材料となる無垢材は、小千谷周辺で産出された材だけを使っています。「カエデなどの広葉樹を多く使っていたのですが、日によってうまく曲げられたり失敗したりすることが起きました。調べると木の属性がバラバラだったのです。それで山師に同じ属性の材を探してもらって解決しました。同じカエデでも生育の環境や伐採時期などが違うと加工を微調整しなければなりません。そのためいろいろの産地から集める木材市場から買うことはいけません。曲げ加工は微妙なのです」。

着色も自由にできます。ポリマー処理を行う過程で顔料インクを木材に染み込ませるため、表面に塗ったのとはまるで違う深みのある色が可能になります。こうして積み上げてきた世界初の加工方法は秘中の秘。曲げ加工機の場所も明かしてもらえませんでした。第1号の製品は、メガネケース（スライド式、18500円〓税別）。飽きのこないシンプルなデザインで曲げ木のケースの内側には本革のインナーケースをセット。無垢材の曲げ木は極薄でも強度があり、大切なメガネを守ります。

### お知らせ

新技術・地域資源開発補助事業は内容を見直し、平成28年度から「ふるさとものづくり支援事業」となりました。

新潟発の国際ブランド「にいがた百年物語」にも参加した製品群には、「前衛的な」という意味の「アヴァンギャルド」と木材（ウッド）を合わせた造語の「Avan Wood（アバンウッド）」という名前が付けられました。ラインナップはメガネケースのほかマウスパッド（8800円〓税別）、電子マネークリップ（材質により4900〓7300円〓税別）、名刺入れ（材質により7800〓8100円〓税別）、万年筆ケース（1本差し8900〓3本差し15500円〓税別）、葉巻ケース（2本差し14800円〓税別）と揃ってきました。

### 「100年使える製品目指す」

けっして安価ではありませんが、長く使ってもらうことを想定し、例えば、曲げ木でつくられたパームレストの適度のクッション性が手首を補助するマウスパッドは新潟県工業技術総合研究所で20万回、自社で独自に200万回もの耐久試験を実施しています。それは「デザインポリシー」として100年の使用に耐える製品」を目指しているからです。

販売はブランドイメージを維持できるショップを中心に展開。文具専門店「伊東屋」を始め国内では12店舗、海外ではフランス・パリ、香港、タイ・バンコクの3店舗で扱っ

ています。使い込むことで愛着がわくこの製品の良さを分かる人は世界中におり、マーケットは日本に限定されるものではありません。現在製品化されているのは、文具・雑貨の小物ですが、木材の持つ高級質感が求められる分野は多数あります。例えば、高級車の内装もそうです。自由に曲げられるようになったことで未知の用途が広がっています。木村さんは「真似されない独自の技術製品」の開発を目指しましたが、どうやらそれは実現されたといえそうです。

## Company Profile

### ストーリー株式会社

代表者 ▶ 代表取締役 木村 和久  
所在地 ▶ 〒947-0021 新潟県小千谷市本町2-7-3  
電話 ▶ 0258-81-0006  
FAX ▶ 0258-81-0007  
URL ▶ <http://www.storio.co.jp/>  
事業内容 ▶ 木材部品加工、木材製品販売、DIY支援など

平成30年度

# ふるさとものづくり支援事業

地域産業の育成・発展を支援

## 問合わせ先

融資部 企画調整課

TEL 03-3263-5586

FAX 03-3263-5732

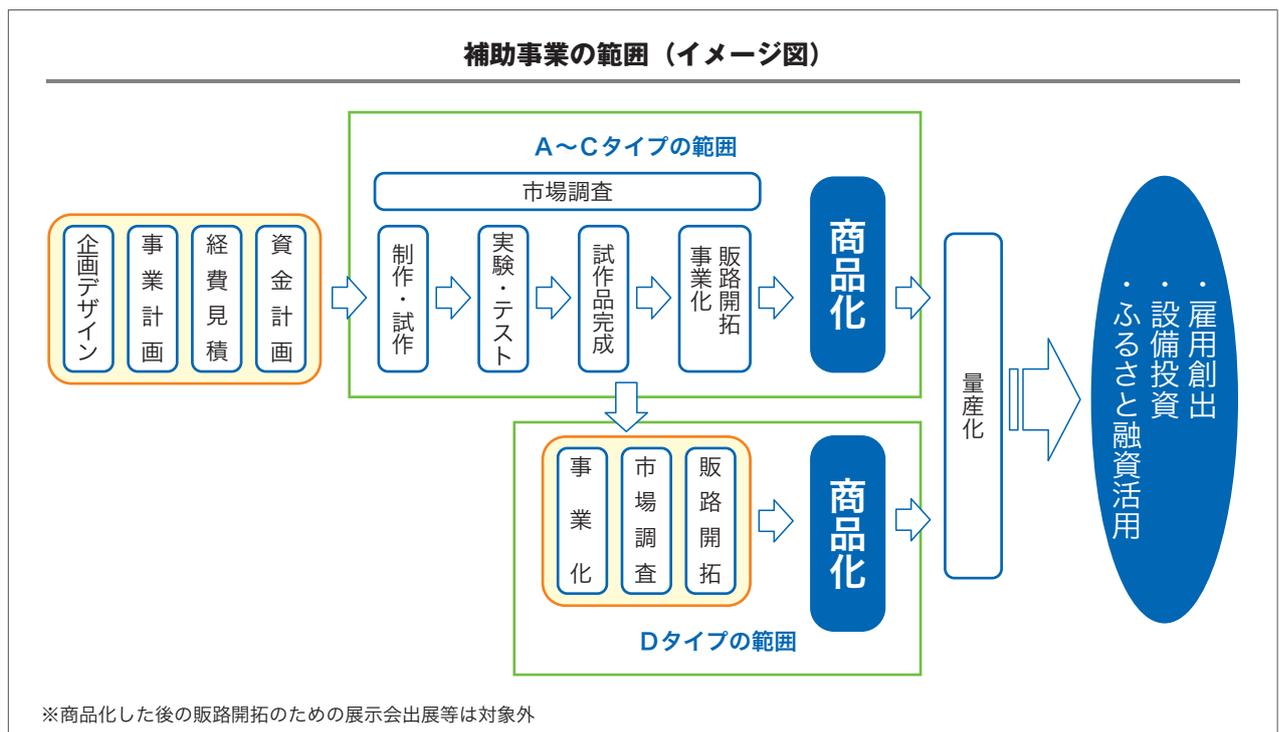
E-mail kikaku-ka@furusato-zaidan.or.jp

## 1 制度目的

企業等の地域資源を活用した新商品開発等に対し市町村が補助を行う場合に、財団が当該市町村に対し補助金を交付することで、地域産業の育成・振興に資するよう地域における投資や雇用の創出を促進するものです。

## 2 事業区分

- (1) 新商品開発に取り組む企業等に対して市町村が必要な経費の補助を行うときは、経費の規模に応じて、補助金を交付します（A～Cタイプ）。
- (2) これまでに新商品開発に取り組み、試作品が完成したものの商品化に至っていないものについて、商品化に向けた事業化、市場調査、販路開拓等を実施しようとする事業について、補助金を交付します（Dタイプ）。



補助対象者	市町村（特別区を含む） ※企業等に対する補助金は市町村から交付します。
補助上限額	・ Aタイプ 1,000 万円      ・ Cタイプ 100 万円 ・ Bタイプ 500 万円      ・ Dタイプ 200 万円
補助率	補助対象経費の 2 / 3 以内 (過疎地域、みなし過疎地域、離島地域、特別豪雪地帯においては 9 / 10 以内)
補助対象経費	A～Cタイプ：補助対象事業に必要な謝金、旅費、原材料費、機械装置費、工具器具費、委託費、技術指導費、産業財産権導入費、会議事務費、人件費、広告費等 Dタイプ：上記に加え、パッケージデザイン・ネーミング委託料など、試作品を商品化の軌道にのせるために必要な委託に要する経費 ※具体的な経費の内容については、財団までお問い合わせください。
補助対象期間	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 2 月 28 日
採択件数	全体で 10 件程度
公募期間	平成 29 年 10 月 2 日 ～ 平成 29 年 11 月 30 日（財団必着）
留意事項	①商品開発において新技術を導入する事業や全く新しい商品の開発を行う事業、産学官金の連携等地域全体で取り組む事業等を重点的に支援します。 ②事業が国庫補助を受けている場合や企業等が債務超過となっている場合は対象となりません。 ③事業の研究開発の主要部分を委託するものは対象となりません（A～Cタイプ）。 ④補助事業の成果については、地域振興策の実例として、財団の広報媒体を通じて公表します。 ⑤申請書類は採否に関わらず返却しません。

### 新商品開発例



木材の曲げ加工技術による  
メガネケースの開発



竹を原料とした  
抗菌剤の開発



特殊シリコンリング装着による  
保温性を高めたカップの開発



島の伝統文化を活用した  
巣蜜商品開発

# 地域再生マネージャー事業

新潟県 ■ 三条市

## 【事業全体概要】

### (1)自治体概要

三条市は、新潟県のほぼ中央に位置し、自然豊かな約430平方キロメートルのまちに人口約9万9000人の市民が暮らしており、金属加工業を中心としたものづくりのまちとして全国的に有名です。信濃川の豊かな水と肥沃な大地の恵みを受けて農業も盛んであり、地酒やお菓子、特産品も数多くあります。

### (2)事業の背景と目的

三条市の人口動態は、多くの地方都市と同様に急速に減少し、少子高齢化が進んでいます。三条市まちづくりの方向性として、「多極分散型の都市構造を堅持」していくことを目指しており、それぞれの地域の暮らしの基盤を健全に維持することが必要不可欠ですが、子供や若者がその地を離れ、高齢化が進む「まちなか」と人口減少による過疎化が進む「下田地域」においては、暮らしの基盤を維持し続けるための施策展開が必要な状態です。

こうした背景を受け、「まちなか」にある市内で最も高齢化率が高い地区をモデルに始めた施策「スマートウエルネス三条（住んでいるだけで自然と歩いてしまう仕組みづくり）」を推進し、主



ステージえんがわ事業の様子

を核とした事業展開や、併せてコミュニティの形成を促進する基盤（プラットフォーム）の構築を目指します。

更には、農業中心の産業構造である「下田地域」の高齢者の暮らしの知恵や工夫を「まちなか」へつなぎ、三条市全体の魅力を内外に発信することに取組みます。

### (3)取組内容

本事業は平成27年度から始まり、平成28年3月の「ステージえんがわ」オープンを目指したハード整備、ソフト事業の組立、それを運営する市民主体の組織づくりを行いました。

#### ●100人インタビューによる

#### ニーズ調査と人材発掘

家に閉じこもりがちな高齢者の外出を促進させるためには何をしたらよいかを主として、地域

に高齢者の外出・交流促進、出番の創出、必要により新たな「テーマ型コミュニティ」の創出することを目的とします。そのために「まちなか交流広場『ステージえんがわ』」

再生マネージャーと地域おこし協力隊によるリサーチから始めました。高齢者の集いや活動の中心的存在となつていく人物を対象に面談する中で「健康に全ての人が興味を持つわけではない」「高齢者になると欲求に素直になる傾向がある」という仮説によりアンケート調査を実施し、結果として健康よりも知識欲や親和欲、食欲、物欲、色欲等の欲求の方が高い数値を示したことから、健康というキーワードにとらわれるのではなく、何歳になつても人間が根源的に求める欲求に寄り添いながら、外出する機会を作り出す事に重きを置き事業を進めました。

また、持続可能な運営体制を構築するために、地域で事業を主体的に進めるリーダー人材の発掘を目的に100人インタビューを行い、やる気と能力のある人材を見つけたことから、後述するa～dの4事業がスタートしています。

#### ●ステージえんがわのハード・ソフト整備

施設のオープン準備過程において地域のクリエイターを登用し、広報ツールの制作だけでなく、



ウコンの栽培技術継承

施設の内装や食堂で使用するプロダクトのコーディネートを実施。ものづくりのまちの技術を取り入れながら、各リーダー人材と共に高齢者が気軽に立ち寄れる空間作りを行いま

した。

また、食の事業展開においては、健康に関連性の高いスパイスを取り込んだ食堂のメニュー開発とともに農産物を調査し、新潟が生産北限地と言われているウコンの生産者を下田地域で発見したことから、ノウハウを継承するワークショップやウコンを利用したメニュー開発が進み、新たな地域資源が生まれました。

### ●ステージえんがわを拠点にスタートした4つの事業

#### ㊦ まちなか交流広場「ステージえんがわ」

市民活動の見える化及び活動のキツカケをつくるため、まずは気軽に参加できるイベントを実施しました。ものづくりのまちの特色や地域を巡る要素を盛り込みながら、食や音楽、映画の上映会等、各種実施した中でも一番にぎわったのは2日間で700人の参加者が集まった「小さな花火大会」で、多世代が一同に縁側で手持ち花火を楽しむ姿が印象的でした。

また、「ステージえんがわ」の運営基盤となる組織構築においては、様々な得意分野を持つている人材と地域おこし



小さな花火大会の様子

協力隊が協同し、平成29年4月に「NP Oえんがわ」が設立され、自走に向けて動き始めています。これまでの取組により、ステージえんがわの認知度が向上

し、「一緒に何かやってみよう」と期待を感じた団体や事業者から協同事業の相談がある等、ヒト・コト・マチをつなぐプラットフォーム機能を少しずつ果たしており、実際に、JRのお座敷列車ツアーの一角を担う等、事業実施のノウハウも向上しています。

#### ㊧ にほんのくらしにスパイスを

##### 「三条スパイス研究所」



三条スパイス研究所の「あさいちごはん」

季節毎の地元農産物を使用し、食堂の通常営業のほかに、定期露店市の開催日と合わせて「あさいちごはん」に取り組んでおり、地域ボランティアの協力も得ながら交流の場づくりを行っています。

オリジナル商品として「ピリヤニキット」や「三条産ターメリック」を開発し、地元農産物を使用した商品の流通を促進しました。ウコンの栽培技術継承においては、興味がある若手農家が出てくる等、広がりも期待されます。他にも、下田地域で収穫しきれずに残っていた山椒に着目し、食堂の特別メニューとして開発した「スパイスカレーうどん」が好評でした。今後は、食堂経営の現状維持の努力と商品開発による更なる売上拡大を目指します。

#### ㊨ 65歳以上が行う「劇団」

ステージえんがわで公開定期レッスンや公演会

を精力的に行い、数々のメディアに取り上げられたことで、大きな注目を集めました。今後も舞台や、更なる会員の獲得につながるよう活動を継続していきます。

#### ㊩ みんなで一緒に歌う「うたごえ喫茶」

多いときには100人ほどの参加者を集める定期開催の事業となり、平成29年度から黒字経営で自走しています。

### 【地域再生マネージャーの活躍】

本事業のマネージャーは、(株)アソボットの近藤ナオ氏に統括いただき、食堂事業の監修はスパイスカフェのオーナーシェフ伊藤一城氏に担当いただきました。

100人インタビューのリサーチ作業から始まり、事業の方向性の決定や人材発掘、食堂へのレシピ提供や味を担保するための指導を行う等、取組の大事な土台作りに尽力いただくとともに、各事業がスタートしてからも黒字運営に向けたアドバイスを随時行い、ブランディング維持のため飲食事業者へのノウハウ蓄積を継続いただいています。

ステージえんがわを拠点とした取組全体が評価され、2016年度のグッドデザイン賞も受賞しました。

近藤マネージャー及び伊藤シェフの助言、支援によって培ってきた取組は、本事業終了後も持続的な市民主体の活動として飛躍していくことを期待しています。

ふるさと財団では、地方自治体の職員を対象に、自治体における公民連携事業の普及促進のため、

# 『公民連携セミナー』

を東京、名古屋、広島にて開催しました。

東京 7.6  
▼  
7.7

名古屋 7.14

広島 7.20

平成29年7月6日(木)から7月7日(金)にかけて東京で、7月14日(金)に名古屋で、7月20日(木)に広島で開催しました。

本セミナーでは、「指定管理者制度等」、「PPP/PFI」及び「公共施設マネジメント」に関し第一線でご活躍されている専門家や実務家の方々に講師に迎え、各分野の基本的事項や、事例等についてご講義いただきました。

全国の自治体から、4日間で約280人のご参加をいただき、熱心に聴講される姿が見られました。

簡単ではありますが、テーマごとに内容をご紹介します。

## テーマ① 指定管理者制度等

総務省行政経営支援室の田中室長(名古屋会場、広島会場では植田室長)からは、地方行政サービス改革に係る国の動向や、最近の情勢についてご説明をいただきました。

内容としては、各種行政改革の導入状況や、窓口の業務改革・外部委託などの業務改革モデルプロジェクトにより汎用性のある改革モデルを横展開していくための取組、自治体の枠を超えて近隣同種施設について同一の指定管理者を公募で確保するための取組などについてお話しいただきました。

株式会社三菱総合研究所インフラマネジメントグループの西松主任研究員からは、昨年度、当財団の公民連携

実務研究会が実施した「指定管理者制度及び行政事務の外部委託に係る検討」の研究成果についてご報告をいただきました。

地方自治体からは、海老名市、茂木町、府中市のご担当者からそれぞれ事例紹介をしていただきました。

海老名市の柳田財務部長からは、同市の総合窓口及び民間委託に関し、窓口のエリア分けや分かりやすいサインの設置といったポイント、市民満足度の向上やサービスの安定的な供給といったメリットなどについてお話をいただきました。

茂木町地域振興課の堀江課長補佐からは、道の駅もてぎの管理運営に関し、道の駅の指定管理者である第三セクターへ派遣されている立場から、町

## 講師紹介（一部）

### 指定管理者制度等



茂木町  
地域振興課  
堀江課長補佐



海老名市  
財務部  
柳田部長

### PPP / PFI



岡崎市  
総合政策部  
永田次長



横浜市  
政策局  
林課長補佐

### 公共施設マネジメント



さいたま市  
経済局商工観光部経済政策課  
関口係長



精華町  
総務部財政課  
小笠原係長

職員と指定管理者の両方の視点で、指定管理者制度導入のポイントやメリット・デメリット、地域振興の取組などについてお話しいただきました。

府中市都市整備部管理課の小林課長補佐からは、同市が進めるインフラマネジメントによる道路施設の包括委託事業に関し、委託業務範囲や事業採算性の検討、事業者選定方法といった導入までの流れから、将来に向けた展望などについてお話しいただきました。

また、今年度は民間事業者として株式会社R・Projectの丹埜代表取締役から、都市部近郊の活用されていない公共施設等を、合宿所やキャンプ場などにリノベーションの上運営

し、合宿の誘致によって交流人口の拡大や地域活性化に貢献する取組などについてお話しいただきました。

## テーマ2 PPP/PFI

内閣府民間資金等活用事業推進室の坂本参事官（名古屋会場では濱田企画官）からは、PPP/PFI推進アクションプランを中心にPPP/PFIの活用推進に向けた取組などについてご説明をいただきました。

PPP/PFI推進アクションプランについては、公的不動産における官民連携の推進や、人口20万人未満の地方公共団体への適用拡大など実効性の



会場風景

高い優先的検討の推進、コンセッション事業等の重点分野拡充といったポイントなどについてお話しいたいただきました。

また、株式会社日本政策投資銀行の金谷顧問、足立担当部長、株式会社日本経済研究所の吉田上席研究主幹、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社西尾主任研究員から、PPP/PFIの現状と動向についてご説明をいただきました。

金谷顧問からは、地域プラットフォームの構築・活用や、官・民・金・学・市民等の各主体の取組戦略の明確化、官の発信力と民の受信力向上といったPPP/PFIの事業形成に向けたポイントなどについてお話しいただきました。

足立担当部長からは、公共施設の整備・運営等に係る主なPPP/PFI手法の違いや手続などとともに、PPP/PFIを活用した、公共施設等総合管理計画策定以降の展開や、水道事業を題材としたインフラ分野への広域展開などについてお話しいただきました。

吉田上席研究主幹からは、昨年度、当財団に設置されている自治体PPP/PFI推進センターが実施した「地方自治体のPPP/PFI活用促進に

資する地域プラットフォームに係る調査・研究」の研究成果についてご報告をいただきました。

西尾主任研究員からは、自治体と住民との協働を進めるための住民対話に關し、ゲームやワークショップを通じた対話や、漫画による次世代を担う住民への周知活動などの事例を紹介しながら、地域全体が一丸となった取組の重要性についてお話しいたしました。

地方自治体からは、横浜市、岡崎市のご担当者からそれぞれ事例紹介をしていただきました。

横浜市政策局の林課長補佐からは、公募により民間事業者と直接対話を行う「サウンディング調査」についてご説明をいただきました。事業実施に当たり民間のアイデアやノウハウを活用するために行うもので、事業検討段階において市場性の有無やアイデアを把握するケースと、事業者公募前に民間の参加意向を把握し、市側の意図や課題を直接伝えるケースがあり、いずれの場合も公平性・透明性を確保しつつ、①参加事業者の公募により②事前に対話項目を提示し③対話結果を公表することがポイントとなることなどについてお話しいたしました。

岡崎市総合政策部の永田次長からは、

7.6  
東京 ▼  
7.7

名古屋 7.14

広島 7.20

## 『公民連携セミナー』

下記ポータルサイトにおいて公民連携に関する情報発信を行っておりますので、是非ご覧ください。

<http://www.furusato-ppp.jp/>

PPP事業推進に当たって、調査研究段階から事業評価段階まで、共通の目標へ向かって事業を推進するための「ルール」づくりと、そのルールに乗せる、各段階における庁内体制の「ルール」づくりが重要であることなどについてお話しいただきました。

### テーマ③ 公共施設マネジメント

総務省財務調査課の中尾課長補佐（名古屋会場では田部井係長、広島会場では大宅課長補佐）からは、公共施設マネジメントの推進と地方公会計についてご説明をいただきました。

固定資産台帳のデータを活用し、将来の施設更新必要額の推計等を行うことで公共施設等総合管理計画の充実・精緻化につなげることや、施設別の行政コスト計算書等を活用したセグメント分析の実施により個別具体的な統廃合等の議論につなげることなど、公共施設等総合管理計画と地方公会計をリンクさせることよって、公共施設マネジメントのより効果的な推進が可能となることなどについてお話しいただきました。

株式会社三菱総合研究所の川口主席研究員からは、住民との合意形成に関

し、従来は行政が方針を決定してから住民説明という形をとるケースが多かったが、これからは検討段階から、参加型・調整型の意思決定プロセスにより当事者意識を醸成することの重要性について、事例を交えながらお話しいただきました。

地方自治体からは、さいたま市、精華町のご担当者からそれぞれ事例紹介をしていただきました。

さいたま市経済政策課の関口係長からは、同市の公共施設マネジメントの取組に関し、各課がチェックシートを作成し、全庁的に優先順位を定め、その結果を財政部局の予算査定時に考慮する「公共施設整備事前協議制度」を立ち上げたほか、独自の公共施設マネジメントゲームや漫画形式のパネルの作成、ワークショップの実施といった住民協働で事業を進める取組などについてお話しいただきました。

精華町財政課の小笠原係長からは、地方公会計の公共施設マネジメントへの活用に関し、固定資産台帳や全庁的な「日々仕訳」の実施体制の整備、公共施設等の更新費用推計の精緻化と公共施設等総合管理基金の創設による財政負担の平準化といった取組についてお話しいただきました。

ふるさと融資とは、地域振興に資する民間投資を支援するために都道府県又は市町村が長期の無利子資金を融資する制度です。

今回のふるさと融資は、新規事業が19件、継続事業3件の計22件となっており、新たに発生する設備投資総額は662億3,800万円、新たな雇用の増加は256人、ふるさと融資貸付予定額は121億9,200万円を予定しています。(設備投資総額、雇用の増加については、新規事業分のみです)

事業分野別の内訳としては、事業分野Eの文化・教育・医療・福祉が件数・金額ともに全体の5割弱を占めています。特に、大規模病院の建替(改修を含む)案件が、際立っています。

事業分野C1の第1次産業系およびC2の第2次産業系は上記に次ぐウェイトを占めていますが、これは施設・工場の建設需要によるものです。

### 1-1 平成29年度第1回ふるさと融資予定事業 (単位: 件、人、百万円)

事業件数	雇用増	設備投資総額	本年度貸付予定額
22	256	66,238	12,192
( 3 )	-	-	(482)

(注) ( ) 内は、うち過年度からの継続事業

### 1-2 貸付団体別 内訳 (単位: 件、人、百万円)

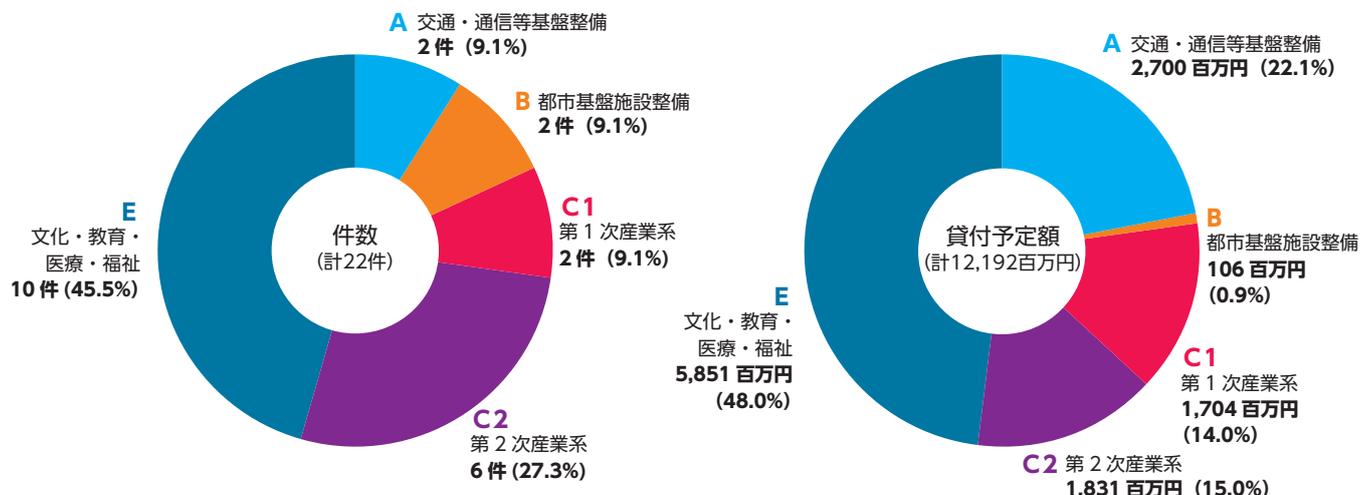
		事業件数	雇用増	設備投資総額	本年度貸付予定額	
(1) 都道府県・政令指定都市	合計	5	55	38,734	6,200	
	うち新規	4	55	38,734	5,800	
	うち継続	1	-	-	400	
(2) 市町村	合計	17	201	27,504	5,992	
	うち新規	15	201	27,504	5,910	
	うち継続	2	-	-	82	
合計		22	256	66,238	12,192	
		うち新規	19	256	66,238	11,710
		うち継続	3	-	-	482

### 1-3 事業分野別 内訳 (単位: 件、人、百万円)

事業分野		件数	雇用増	設備投資総額	本年度貸付予定額
A 交通・通信等基盤整備		2	35	9,761	2,700
	( 0 )	-	-	-	( 0 )
B 都市基盤施設整備		2	13	109	106
	( 1 )	-	-	-	( 61 )
C 地域産業振興	C1 第1次産業系	2	39	6,642	1,704
	( 0 )	-	-	-	( 0 )
	C2 第2次産業系	6	37	4,594	1,831
	( 2 )	-	-	-	( 421 )
	C3 第3次産業系	0	0	0	0
( 0 )	-	-	-	( 0 )	
小計		8	76	11,236	3,535
		( 2 )	-	-	( 421 )
D リゾート・観光振興		0	0	0	0
	( 0 )	-	-	-	( 0 )
E 文化・教育・医療・福祉		10	132	45,132	5,851
	( - )	-	-	-	( 0 )
合計		22	256	66,238	12,192
		( 3 )	-	-	( 482 )

(注) ( ) 内は、うち過年度からの継続事業 雇用増、設備投資総額は新規分のみ計

## 平成 29 年度第 1 回ふるさと融資 事業分野別構成比



## 2 平成 29 年度第 1 回 ふるさと融資予定事業一覧

(単位：人、百万円)

番号	事業名	事業分野	事業地	貸付団体	事業者名	雇用増	設備投資総額	本年度貸付予定額	事業内容
1	バイオマス発電所建設事業	A	青森県八戸市	青森県	八戸バイオマス発電(株)	15	6,458	2,500	●八戸市内に12,400KW規模のバイオマス発電所を新設 ●敷地20,460㎡、延床1,404㎡(S造2階建)
2	新豆菓子工場建設事業(継続)	C2	山形県上山市	山形県	(株)でん六	10	4,851	400	●豆菓子製造工場の建設 ●敷地83,476㎡、延床10,433㎡(SRC造3階建)
3	病院増改築事業	E	奈良県奈良市	奈良県	一般(財)沢井病院	10	2,038	300	●老朽化した病院の一部を改修、建替 ●敷地面積2,954.96㎡ 延床5,891.36㎡(RC造5階建,S造4階建一部5階建)
4	新病院建設事業	E	愛媛県松山市	愛媛県	日本赤十字社	20	18,622	600	●第1期工事として、隣接する小学校跡地に新病院北棟及び現病院敷地内に東棟を建設 ●敷地(現病院敷地+小学校跡地) 26,165.32㎡ 北棟延床21,726.34㎡(S造(免震構造)地下1階地上6階) 別棟東：延床542.54㎡(S造地上2階建)
5	新病院建設事業	E	長崎県長崎市	長崎県	日本赤十字社	10	11,616	2,400	●長崎原爆病院の建替 ●敷地9,654.60㎡、延床26,431.43㎡(S造15階建)
6	病院改築事業	E	北海道紋別市	紋別市	(医)社団幸栄病院	2	1,546	380	●老朽化した現病院の建替 ●敷地5,321.81㎡、延床3,199.35㎡(RC造一部4階建)
7	水産加工施設建設事業	C1	青森県むつ市	むつ市	北彩漁業生産組合	1	130	54	●海水養殖の「海峡サーモン」の水産加工施設の新設・移転 ●敷地1,562.16㎡、延床499.76㎡(木造平屋建)
8	駅前商業施設整備事業	B	宮城県多賀城市	多賀城市	多賀城・七ヶ浜商圏活性化(株)	13	109	45	●まちづくり会社として、駅前新築物件を取得し、商業用施設を整備 ●専有面積230.43㎡、RC地上12階建の1階部分
9	航空機部品工場新設事業(継続)	C2	秋田県潟上市	潟上市	山本精機(株)	5	363	21	●航空機エンジン用部品、同整備機材等製造工場の新設 ●敷地4,185.41㎡(全て賃借) 延床1,536㎡(全て賃借)(S造平屋建)
10	病院整備事業	E	山形県米沢市	米沢市	(医)舟山病院	2	2,350	450	●既存病棟建替等の施設整備 ●敷地7,980㎡、延床7,974㎡(RC造4階建)
11	水性フレキシ印刷機導入及び新工場建設事業	C2	山形県酒田市	酒田市	(株)小松写真印刷	10	1,362	530	●水性フレキシ印刷機を導入し、フレキシブルパッケージ(軟包材)印刷のための工場を新設 ●敷地16,747.54㎡、延床1,982.31㎡(S造平屋建一部2階建)

番号	事業名	事業分野	事業地	貸付団体	事業者名	雇用増	設備投資総額	本年度貸付予定額	事業内容
12	病院改築事業	E	福井県 越前市	越前市	(医) 林病院	15	3,952	350	●隣接地に新病院を建設 ●敷地3,651.20㎡(全て賃借) 延床11,501.98㎡(RC造10階建)
13	精密加工工場・鍛造工場建設事業	C2	京都府 京丹後市	京丹後市	(株) 韋城製作所	3	833	100	●京丹後市の森本工業団地に、「精密加工工場」及び「鍛造工場」を新設 ●敷地 計12,089㎡(全て賃借) 延床 計2,163㎡(2棟、S造)
14	縫製工場建設事業	C2	和歌山県 湯浅町	湯浅町	ワイオー・ラボ(株)	2	150	60	●老朽化した下水管等を更生するライナー材の縫製工場を新設 ●敷地7,859㎡(全て賃借) 延床 工場棟:717.22㎡(S造平屋建) + 事務所棟:72.87㎡(木造平屋建)
15	豆乳等製造工場建設事業	C1	鳥取県 鳥取市	鳥取市	マルサンアイ鳥取(株)	38	6,512	1,650	●豆乳製品の需要増に対応した増産のための新工場建設 ●敷地26,862.46㎡、延床9,185.48㎡(S造一部2階建)
16	複合型介護サービス施設整備事業	E	鳥取県 鳥取市	鳥取市	(医) 社団三樹会	8	651	184	●現診療所ビルの改修による複合型介護サービス施設整備 ●敷地3,763.54㎡ 延床2,690.28㎡(地下1階建、RC造5階建)
17	高齢者介護施設増改築整備事業	E	島根県 出雲市	出雲市	(福) 壽光会	10	613	204	●特別養護老人ホームを増改築し、増床して全床ユニットケア個室化 ●敷地18,724㎡、延床4,371㎡(S造一部2階建)
18	物流センター建設事業	A	愛媛県 松山市	松山市	(株) ムロオ	20	3,303	200	●賃借している物流センターの老朽化等のため、新たに自社物件として物流センターを建設 ●敷地21,877.56㎡、延床19,000.00㎡(S造2階建)
19	病院・介護老人保健施設等整備事業	E	愛媛県 新居浜市	新居浜市	(医) 住友別子病院	11	2,755	743	●病院第2病棟の耐震改修及び、人工透析室、院内保育所、介護老人保健施設の新設 ●敷地38,557.51㎡(全て賃借) 延床6,636.03㎡(RC造6階建)
20	菓子工場増築及び観光施設建替事業	C2	長崎県 雲仙市	雲仙市	(有) 和泉屋	22	2,249	720	●カステラ工場(愛野工場) 増築とレストランなどの既存観光施設の建替 ●敷地14,111㎡、延床5,393㎡(うち工場:4,293㎡ S造3階建、観光施設:1,100㎡ S造平屋建)
21	特別養護老人ホーム建設事業	E	長崎県 雲仙市	雲仙市	(福) 白寿会	44	989	240	●短期入所生活介護施設を併設する特別養護老人ホームの建設 ●敷地9,987.91㎡、延床3,174.99㎡(S造平屋建)
22	まちなか複合ビル建設事業(継続)	B	宮崎県 小林市	小林市	小林まちづくり(株)	26	778	61	●中心市街地における複合ビルの建設 ●敷地3,264㎡、延床3,649㎡(RC造5階建)

※ 事業分野欄 A: 交通・通信等基盤整備 B: 都市基盤施設整備 C: 地域産業振興 (C1: 第1次産業系 C2: 第2次産業系 C3: 第3次産業系)  
D: リゾート・観光振興 E: 文化・教育・医療・福祉

## 都道府県・政令指定都市、団体区分別

(単位: 件、百万円)

	新規						継続						合計					
	都道府県 指定都市		市町村		小計		都道府県 指定都市		市町村		小計		都道府県 指定都市		市町村		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
北海道			1	380	1	380									1	380	1	380
青森県	1	2,500	1	54	2	2,554							1	2,500	1	54	2	2,554
岩手県																		
宮城県			1	45	1	45									1	45	1	45
秋田県									1	21	1	21			1	21	1	21
山形県			2	980	2	980	1	400			1	400	1	400	2	980	3	1,380
福島県																		
茨城県																		
栃木県																		
群馬県																		
埼玉県																		

	新規						継続						合計					
	都道府県 指定都市		市町村		小計		都道府県 指定都市		市町村		小計		都道府県 指定都市		市町村		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
千葉県																		
東京都																		
神奈川県																		
新潟県																		
富山県																		
石川県																		
福井県			1	350	1	350									1	350	1	350
山梨県																		
長野県																		
岐阜県																		
静岡県																		
愛知県																		
三重県																		
滋賀県																		
京都府			1	100	1	100									1	100	1	100
大阪府																		
兵庫県																		
奈良県	1	300			1	300						1	300				1	300
和歌山県			1	60	1	60								1	60	1	60	
鳥取県			2	1,834	2	1,834								2	1,834	2	1,834	
島根県			1	204	1	204								1	204	1	204	
岡山県																		
広島県																		
山口県																		
徳島県																		
香川県																		
愛媛県	1	600	2	943	3	1,543						1	600	2	943	3	1,543	
高知県																		
福岡県																		
佐賀県																		
長崎県	1	2,400	2	960	3	3,360						1	2,400	2	960	3	3,360	
熊本県																		
大分県																		
宮崎県									1	61	1	61			1	61	1	61
鹿児島県																		
沖縄県																		
札幌市																		
仙台市																		
さいたま市																		
千葉市																		
横浜市																		
川崎市																		
相模原市																		
新潟市																		
静岡市																		
浜松市																		
名古屋市																		
京都市																		
大阪市																		
堺市																		
神戸市																		
岡山市																		
広島市																		
北九州市																		
福岡市																		
熊本市																		
合計	4	5,800	15	5,910	19	11,710	1	400	2	82	3	482	5	6,200	17	5,992	22	12,192



# 職員レポート ①

地域再生部地域再生課 岩崎 誠  
(平成28年度は融資部企画調整課に配属)

## 古き良きもの



緑豊かな山並みに恵まれた越前(県北部)と、清らかな水に恵まれた若狭(県南部)。「越山若水」。これは福井を表した言葉です。

私のふるさと福井県若狭町は、若狭湾に面しており、ラムサール条約登録湿地「三方五湖」や名水百選「瓜割の滝」、近畿一美しい川「北川」など、「若水」のとおり水資源が豊富なまちです。また、若狭は古来より朝廷に食材を提供してきた「御食国」として、都の食文化を支えていました。今でも食の宝庫として、次世代に伝えていきたい食材や郷土料理がたくさんあります。皆さまのふるさとにも全国に誇れる地域資源、歴史や文化があるのでないでしょうか。

ふるさと財団は、そんな皆さまのふるさとが元気になるお手伝いをさせていただきます。

若狭の自然を舞台にしたスポーツイベントが人気です。詳しくはこちら。



若狭路スポーツトリップ  
wakasaji sports trip



日本海側最大の梅産地で、皇室献上や大相撲優勝力士に贈呈されている紅映(べにさし)梅。



若狭の海の幸のおすすめアオリイカ。目で味わって口で楽しむ活き作りは秋が旬。



名水百選総選挙おいしい水部門第2位の名水が湧き出る「瓜割の滝」。

私が若狭町役場からふるさと財団に  
出向してから一年半が経ちました。昨  
年度は融資部企画調整課でふるさと  
のづくり支援事業に携わり、新技術や

新商品開発に挑戦されている企業の  
トップの方から経営戦略や開発秘話を  
お聞きし、経営的な視点を学びました。  
今年度は地域再生部で地域再生マネー

ジャー事業(外部専門家活用助成)の  
担当をしています。この事業は、全国  
でご活躍の外部専門家からアドバイスを  
受けながら、地域資源を活用したビ  
ジネス創出や住民主体の持続可能な体  
制を構築することで地域の再生を目指  
すものです。事業を活用いただしてい  
る市町村を訪問する機会も多く、地域  
再生真つ只中の現場や住民参加のワー

クシヨップに立ち合う中で、まちづく  
り手法や地域の方々の熱い思いに触れ  
ています。

どの地域にも共通することは、「古  
き良きもの」を、視点を変えて利活用  
していることです。伝統工芸に新しい  
風を吹き込む、空き施設のリノベ―  
ションなど、単に地域資源の活用にと  
留まらず、時代や地域に合わせて変化さ  
せていきます。歴史や文化を紐解き、違っ  
た視点から捉え、産地の良さを再発見  
することに、地域再生のヒントが隠れ  
ていると感じています。

私も、全国への視察や東京で生活す  
る中で、ヨソモノ目線での若狭町が見  
えてきました。若狭の良さを再認識で  
きただけでなく、今まで当たり前で見

過ごしていたことに、まだまだヒント  
が隠れているのではないかと思ってい  
ます。残り数か月、皆さまのふるさと  
がますます元気になるよう一生懸命お  
手伝いさせていただくとともに、自分  
のふるさとにも貢献できるよう成長し  
て帰りたいと思います。

日 付	内 容	場所等
7月3日	ふるさと財団業務説明会	青森県
7月4日	ふるさと財団業務説明会	宮城県
7月4日～7月5日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	山梨県甲府市
7月5日	ふるさと財団業務説明会	愛媛県
7月6日～7月7日	公民連携セミナー	東京都
7月7日～7月8日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	福島県浪江町
7月10日	公民連携（PPP / PFI）アドバイザー派遣	栃木県佐野市
7月10日	公民連携（PPP / PFI）アドバイザー派遣	栃木県鹿沼市
7月13日	ふるさと財団業務説明会	福島県
7月14日	公民連携セミナー	愛知県名古屋
7月14日	公民連携（公共施設マネジメント）アドバイザー派遣	三重県津市
7月14日～7月17日	地域再生マネージャー事業・外部専門家派遣	鹿児島県十島村
7月18日	ふるさと財団業務説明会	徳島県
7月18日	公民連携（PPP / PFI）アドバイザー派遣	京都府亀岡市
7月20日	公民連携セミナー	広島県広島市
7月20日～7月21日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	山口県周南市
7月23日～7月24日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	大阪府池田市
7月24日	公民連携（公共施設マネジメント）アドバイザー派遣	埼玉県
7月25日	ふるさと財団業務説明会	新潟県
7月26日	ふるさと企業大賞審査委員会	東京都
7月26日	公民連携（公共施設マネジメント）アドバイザー派遣	奈良県三宅町
7月26日～7月27日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	群馬県東吾妻町
7月27日～7月28日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	岩手県大船渡市
8月2日	公民連携（指定管理者制度等）アドバイザー派遣	山口県岩国市
8月2日	公民連携（指定管理者制度等）アドバイザー派遣	長崎県壱岐市
8月2日～8月4日	地域再生マネージャー事業・外部専門家派遣	和歌山県広川町
8月3日	ふるさと財団業務説明会	長崎県
8月3日	公民連携（PPP / PFI）アドバイザー派遣	茨城県龍ケ崎市
8月4日	ふるさと財団業務説明会	佐賀県
8月4日	公民連携（公共施設マネジメント）アドバイザー派遣	岡山県笠岡市
8月7日	公民連携（PPP / PFI）アドバイザー派遣	神奈川県座間市
8月21日	公民連携（PPP / PFI）アドバイザー派遣	東金市外三町清掃組合
8月23日	公民連携（PPP / PFI）アドバイザー派遣	長崎県
8月24日	ふるさと財団業務説明会	大分県
8月24日	公民連携（公共施設マネジメント）アドバイザー派遣	兵庫県明石市
8月25日	ふるさと財団業務説明会	秋田県
8月31日～9月1日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	佐賀県嬉野市
9月6日～9月7日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	新潟県三条市
9月15日～9月16日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	福岡県芦屋町
9月21日	公民連携（PPP / PFI）アドバイザー派遣	長野県長野市
9月22日	ふるさと財団業務説明会	長野県
9月26日	公民連携（PPP / PFI）アドバイザー派遣	茨城県常総市
9月26日～9月27日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	石川県羽咋市
9月27日～9月29日	地域再生マネージャー事業・外部専門家派遣	山形県庄内町
9月28日～9月29日	地域再生マネージャー事業・外部専門家活用助成	宮崎県都農町
9月29日	ふるさと財団業務説明会	鹿児島県

本誌では、これからも地域づくりの参考となるさまざまな情報を紹介していきたいと考えております。皆様のご意見・ご要望をお寄せください。

活力と魅力あふれる地域づくりのために



平成 29 年 11 月 1 日発行

編集・発行



一般財団法人  
地域総合整備財団〈ふるさと財団〉  
Japan Foundation For Regional Vitalization

〒102-0083 東京都千代田区麹町 4-8-1

麹町クリスタルシティ東館 12 階

TEL. 03(3263)5586 FAX. 03(3263)5732

URL: <https://www.furusato-zaidan.or.jp/>

E-mail: [furusato@furusato-zaidan.or.jp](mailto:furusato@furusato-zaidan.or.jp)

編集協力

株式会社太平印刷社



宝くじは、  
みなさまの豊かな  
暮らしに  
役立っています。



宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、  
少子高齢化対策や災害に強い街づくりまで、  
さまざまなかたちで、みなさまの暮らしに役立っています。

一般財団法人 日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や  
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人  
**日本宝くじ協会**  
<http://jila-takarakuji.or.jp/>

